

備後の紙で逸品土産

G8議長
サミット

メモホルダーに採用

九月二日に広島市で
開催される主要国（G
8）の下院議長会議（議
長サミット）で、福山

市芦田町の備後撚糸
（光成猛社長）が製造
する生地を使ったメモ

ホルダーが土産物とし
て提供されることが決
まった。

メモホルダーは縦二
十三センチ、横十七センチ。和
紙糸を使った白い生地
をカバーにし、メモ用

紙を付けている。首脳
や関係者ら向けに、約
百五十冊用意してい

る。原爆ドームをあし
らったケースと「開催
地広島の子会社の強く軽
い紙で作っています」

との説明も
添えた。

商品は東

京都足立区

の包装資材

製造の鯨岡

が企画。護

憲派で知ら

れた故鯨岡

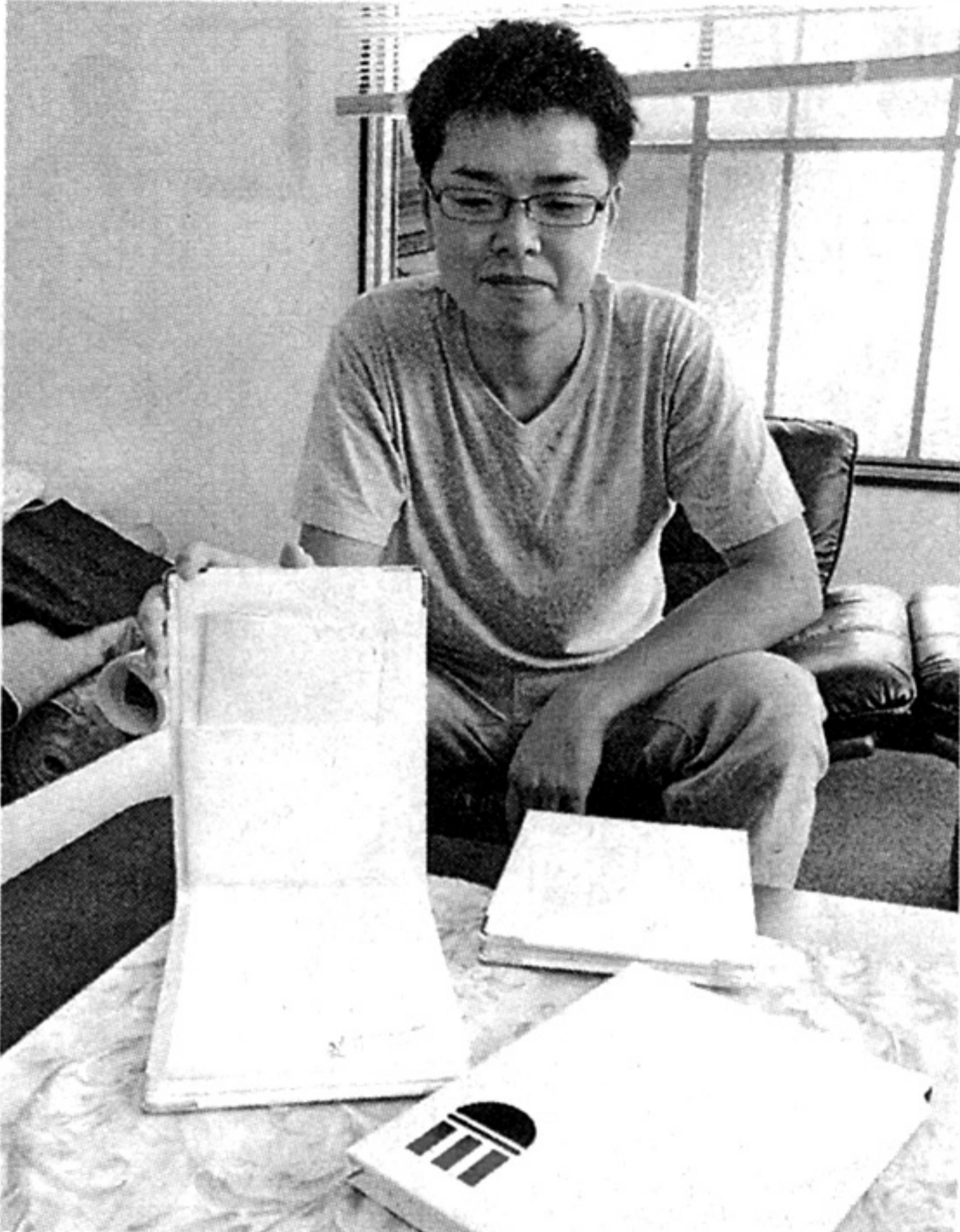
兵輔元衆院

副議長の息

子である巨

社長（58）が

「父も戦争



完成したメモホルダーを手にする光成営業部長

反対を訴えていた。被
爆した県の製造業のパ
ワーを伝えたい」と、
県内で材料を探した。
備後撚糸和紙事業
部の光成明浩営業部長
は「世界各国の人にア
ピールするチャンス。
新たな商品開発にもつ
なげたい」と話してい
る。
（赤江裕紀）